

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価「国際緊急援助隊評価」
救助チーム 消防庁に対する質問票

平成 16 年 1 月 9 日
外務省国際緊急援助隊評価調査チーム

今般、効果的・効率的な援助の実施のための評価事業の一環として、外務省は、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは 2003 年 5 月 22 日から 5 月 29 日にかけて実施されました「アルジェリア国における地震災害に対する国際緊急援助隊（救助チーム）」派遣をケーススタディとして取り上げ、1 月 9 日～16 日の日程でアルジェリアの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問への回答にご協力をお願い申し上げます。回答に際しましては、貴庁の国際緊急援助隊派遣業務に係わる事務担当の方には 3 ページ目を、副団長および中隊長としてアルジェリアへの国際緊急援助隊に参加された方には 4 ページ目および 5 ページ目をご記入いただきたくお願い申し上げます。

ご記入頂きました質問票回答については、まこと勝手ながら 1 月 19 日までにファックスまたは E-mail にて本調査チーム事務局あてにお送り頂ければ幸甚です。場合によっては、面談あるいは電話にて事実確認及び補足情報についてインタビューを行いたいと考えております。その際は事務局より別途ご連絡申し上げますが、重ねてご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、回答結果は本件評価調査の参考とさせていただくものであり、ご回答者の個人名を公表することはありませんので、念のため。

（貴庁のご担当者）

回答者

氏名：

役職：

所属：

（貴庁の実際に副団長として参加された方）

回答者

氏名：

役職：

所属：

(貴庁の実際に中隊長として参加された方)

回答者
氏名：
役職：
所属：

（国際緊急援助隊派遣業務に係わる事務担当者の方）

Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣に備えるための通常時における体制を整理し、貴庁においては以下のとおり実施すると理解しております。ついては、通常時における貴庁の実施状況について、教えてください。

（通常時）

以下の各項目についての実施状況について、A～D（A：明確に行っている、B：行っている、C：あまり行っていない、D：全く行っていない）から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
消-1	（通常時の体制） 担当者を決め（担当部署：救急救助課）、緊急時に24時間対応可能な体制を整備					
消-2	（マニュアルの整備） ① 救助チーム ：外務省、JICA、関係3庁との協議の上、策定・改訂					
消-3	（人員登録状況・各省庁との連絡体制） 派遣要員の指名をする（62自治体消防本部が日付毎にローテーションで担当）					
消-4	（研修・訓練の実施状況） ①JICA実施の「 救助チーム 」研修への参加 「総合訓練（1回/年）」：隊員が参加（小隊長はオブザーバー） 「リーダー研修（1回/年）」：小隊長・中隊長レベル以上が参加 ②国際機関の研修参加（INSARAG等）					
消-5	（携行機材の整備状況） ①JICAの用意した携行機材の使用					

Q2. 貴庁の日常業務における、国際緊急援助隊業務の位置づけを教えてください。

- 貴庁における通常訓練の概要および国際緊急援助隊業務との関連についてお教え下さい。
- 貴庁では国際緊急援助隊派遣のために特別に準備された独自の訓練プログラムをお持ちですか？あればその概要についてお教え下さい。
- 貴庁では国際緊急援助隊に類似する、国際緊急支援活動を行う制度はありますか？あればその概要についてお教え下さい。
- 貴庁にとり、国際緊急援助隊への参加の利点は何ですか？

Q3. その他、国際緊急援助隊派遣制度に関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

(副団長の方)

- Q4. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣時における体制を整理し、貴庁においては以下のとおり実施すると理解しております。ついで、実際の派遣時(アルジェリア地震 救助チーム派遣)における貴庁の実施状況について、教えてください。

(派遣時(被災国での活動))

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
救-1	到着時 ①空港到着時のレセプションセンターにおける登録 ②LEMA(現地対策本部)、OSOCC(国連被災現場実行管理センター)との連絡 ③サイトの決定(LEMA、OSOCCと調整)、サイトへの移動。					
救-2	活動中 ①状況把握(被災状況、チーム活動の安全性、二次災害の危険度、他の援助機関の活動状況、被災地の一般的情報(宗教・地理・気象)など) ②活動報告を随時、在外公館に提出 ③広報は、団長および担当を決め実施。現地報道振りを本部へ報告 ④撤収についてLEMA、OSOCC、在外公館と協議・調整 ⑤撤収決定 ⑥撤収作業 ⑦帰国に際し被災国政府へ活動報告					

- Q5. 現地で活動をされるにあたり、国際緊急援助隊派遣制度(救助チーム)に対してのご意見を教えてください。

- 国際緊急援助隊(救助チーム)の小隊は、他庁との混成チームを組んで活動することになっていますが、その中で貴庁がもつ優位性や利点が現場での救助活動で十分にいかせましたか？
- 他国と比較して日本の国際緊急援助隊派遣制度の利点はありましたか？
- 国際緊急援助隊派遣制度からくる問題点はありましたか？

- Q6. その他、国際緊急援助隊派遣制度に関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

(中隊長の方)

- Q7. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣時における体制を整理し、貴庁においては以下のとおり実施すると理解しております。ついで、実際の派遣時(アルジェリア地震 救助チーム派遣)における貴庁の実施状況について、教えてください。

(派遣時(被災国での活動))

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
救-1	到着時 ①空港到着時のレセプションセンターにおける登録 ②LEMA(現地対策本部)、OSOCC(国連被災現場実行管理センター)との連絡 ③サイトの決定(LEMA、OSOCCと調整)、サイトへの移動。					
救-2	活動中 ①状況把握(被災状況、チーム活動の安全性、二次災害の危険度、他の援助機関の活動状況、被災地の一般的情報(宗教・地理・気象)など) ②活動報告を随時、在外公館に提出 ③広報は、団長および担当者を決め実施。現地報道振りを本部へ報告 ④撤収についてLEMA、OSOCC、在外公館と協議・調整 ⑤撤収決定 ⑥撤収作業 ⑦帰国に際し被災国政府へ活動報告					

- Q8. 現地で活動をされるにあたり、国際緊急援助隊派遣制度(救助チーム)に対してのご意見を教えてください。

- 国際緊急援助隊(救助チーム)の小隊は、他庁との混成チームを組んで活動することになっていますが、その中で貴庁がもつ優位性や利点が現場での救助活動で十分にいかせましたか？
- 他国と比較して日本の国際緊急援助隊派遣制度の利点はありましたか？
- 国際緊急援助隊派遣制度からくる問題点はありましたか？

- Q9. その他、国際緊急援助隊派遣制度に関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上